

平成30年4月19日

報道機関 各位

あきる野市企画政策部企画政策課長 鈴木 将裕

あきる野市における「ドローン特区」を活用した実証実験の実施について

標記の件について、別紙のとおり株式会社スカイシーカーがプレス発表を行いましたのでお知らせします。

本実験は、東京都が平成28年12月に東京圏国家戦略特別区域会議で提案し特区認定された「ドローン特区」を活用した実証実験を、平成30年4月26日（木）にあきる野市において実施するものです。本事業者が同市内で行う実験は、平成29年5月22日に続き2回目となります。

実験内容等については別紙をご覧ください、本件に関するお問い合わせは、株式会社スカイシーカー（別紙の【問い合わせ先】）までお願いいたします。

**【担当】**

あきる野市企画政策部企画政策課

来住野、蓑輪

電話：042-558-1111（内線 2212）

## 5.7GHz 帯を利用した大型ドローンによる物資搬送実証実験

平成 30 年 4 月 19 日  
株式会社スカイシーカー

この度、東京圏国家戦略特別区域会議にて認定された「ドローン特区」を活用し、株式会社スカイシーカーは、東京都様、あきる野市様と協力してドローンでの 5.7GHz 帯を使用した戸倉地区における大型ドローンによる物資搬送の実証実験を行います。

つきましては実証実験の概要、実施日時等が決定しましたので、次のとおりお知らせします。



## 【概要】

### 1. 想定状況

土砂災害の発生により戸倉地区が孤立。災害により 2.4GHz 帯の電波が混線状態。

### 2. 目的

- ① 災害発生時に孤立してしまう恐れのある地区への支援体制の確立
- ② 災害発生時の 2.4GHz 帯混線を見越し、5.7GHz 帯を通信に使用したドローンの通信状態の検証
- ③ ドローン本体と通信機の通信が途絶えた状態での孤立地区への物資搬送の可否の確認
- ④ ドローンの飛行に際して障害となりえる建造物や地形、条件等の確認
- ⑤ 大型ドローン (DJI 社製 QS8) による、救援物資の搬送、投下の確認

### 3. 内容

中型ドローン (INSPIRE2) の通信に 5.7GHz 帯を使用し土砂災害発生地域周辺の状況把握をする。その後、大型ドローン (QS8) に飛行ルート、飛行速度等のフライトデータを入力し、救援物資を搬送させるためドローン離陸地点から想定した孤立地区まで自律飛行をさせる。物資搬送後は離陸した地点まで自律飛行で帰還させる。

また、ドローンが着陸できない地点での支援を想定し、目視飛行による物資投下の実証試験も行う。

**【実施日】**

平成 30 年 4 月 26 日 (木)

時間 : 13 : 00 ~ 14 : 30

**【問い合わせ先】**

株式会社スカイシーカー 実証実験担当

Mail : info@skyseeker.jp

Tel : 03-6260-8960

**【開催地】**

戸倉しろやまテラス (東京都あきる野市戸倉 325 番地)

**【事業者】**

株式会社スカイシーカー

所在地 : 東京都千代田区神田富山町 25 番地 サンクス神田ビル B1F

TEL : 03-6260-8960

**【協力】**

東京都

所在地 : 東京都新宿区西新宿二丁目八番一号 東京都庁第一本庁舎 11 階北側

TEL : 03-5388-2165

あきる野市

所在地 : 東京都あきる野市二宮 350 番地

TEL : 042-558-1111

株式会社ソリトンシステムズ

所在地 : 東京都新宿区新宿 2-4-3

TEL : 03-5360-3860

株式会社ナショナルマリンプラッチック

所在地 : 東京都品川区南大井 6-24-6 ダイトウビルディング 4F

TEL : 03-3763-4601